

生理学：ビタミン

39-053 出血性素因として正しいのはどれか。

- 1. ビタミンA欠乏症 — 夜盲症
- 2. ビタミンB1欠乏症 — 脚気、ワエルニック脳症
- 3. ビタミンD欠乏症 — くる病、骨軟化症
- 4. ビタミンE欠乏症 — 溶血性貧血
- 5. ビタミンK欠乏症 — ビタミンKは血液凝固作用があるため、欠乏すると出血性素因となる。

40-031 ビタミン欠乏症で誤っているのはどれか。

- 1. ビタミンA——夜盲症
- 2. ビタミンB1——末梢神経障害
- 3. ビタミンC——壊血病
- 4. ビタミンD——くる病
- 5. ビタミンK——テタニー
カルシウム

41-050 ビタミン欠乏症で誤っている組合せはどれか。

- 1. ビタミンA——夜盲症
- 2. ビタミンB1——脚気
- 3. ニコチン酸——ペラグラ
- 4. ビタミンD——骨軟化症
- 5. ビタミンK——血栓症

の過剰摂取 血栓症改善のためのワファリン(血液凝固抑制剤)を

46-A-096 ビタミンB₁ (チアミン) 欠乏によるのはどれか。2つ選べ。

服用している人は ビタミンKの摂取を控える。

- 1. 脚気
- 2. 痛風 …… 高尿酸血症
- 3. ペラグラ脳症 …… ニコチン酸(チアミン)欠乏
- 4. Mallory-Weiss (マロリー・ワイス) 症候群 …… 飲酒による嘔吐のくり返しによる原因で、胃食道接合部付近に裂傷を引き起こしたものを。
- 5. Wernicke-Korsakoff (ウェルニック・コルサコフ) 症候群

ビタミンB12欠乏 → 悪性貧血